

生徒会スローガン決定

「Jump to your dream ～輝く笑顔のために～」

6月22日(火)の生徒総会でスローガンが決定しました。このスローガンには、①一人一人が自分の夢に向かって自分自身で学び、自分の手で夢をつかみにいきたい。②コロナの影響で体育大会などの行事が予定通りできないこともあるけれど、生徒一人一人の笑顔が輝くようにしたい。③自分や誰かの笑顔のために、夢に向かって挑戦していきたい。という思いが込められています。この素晴らしいスローガンのもと、三中全体がよりよく成長し、発展するために、自分は何をすればいいのか、また三中全員では何をしていくのかをしっかりと確認することができた生徒総会でした。

三中があなたのために何ができるかではなく、あなたが三中のために何ができるか、自ら気づき考え行動し、一人一人が笑顔で過ごせる学校をみんなで目指していきましょう。

最後に、生徒会執行部、各委員会の委員長・副委員長のみなさん、これまでの準備、そして当日の運営、本当にありがとうございました！

本物の優しさは美しい・・・

三中では、7年前から正門周辺に植えて、ひまわりを育てています。

このひまわりは、熊本地震後に、神奈川県「湘南ひまわりネットワーク」という団体様から『中略・・・せめて子どもたちの心の拠り所である学校で明るく咲いて、子どもたちの励みになってほしいと思います。』という手紙と一緒に届きました。

このように私たちは、周りの人たちの本物の優しさに触れながら、生きているのですね。心から感謝！

命の「あさがお」育ててみませんか？

今から30年程前、交通事故で亡くなった大阪の林和也くん(当時6歳)が、生前大切に育てていた「あさがお」の種を和也くんのお母さんが交通事故撲滅と命の大切さを伝えるために、配り始めたそうです。



三中では、生徒会を中心に先輩方が一生懸命にその「あさがお」を育てて多くの種を摘み、袋詰めしてくれました。職員室前に置いてありますので、自由に持ち帰り育ててみませんか？

「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」

何事始めるにも、大切なことは一步を踏み出す勇氣。まずこの一步を踏み出さなければ前に進むことはできません。どんなに優れた考えでも、実行されなければ栄光の女神も微笑んでくれません。スタートしなければ、ゴールもないのです。よいと思ったことはすぐ行動する。悪いと思ったことはすぐやめる。この実行力が人生を左右します。具体的には足元のゴミを拾う実践から始めることです。ゴミを目にしたら、腰をかがめてサッと拾う。この実践を続けているだけで、気づきに対する直感力が研ぎ澄まされてきます。同時に、突発的な問題に対する判断能力が高まってきます。ゴミを拾っていて感じることは、ゴミを捨てる人は捨てる一方。まず、拾うことはしないということです。反対に、拾う人は無神経に捨てることもしません。この差は、年月が経てば経つほど大きな差となって表れてきます。人生はすべてこうしたことの積み重ねですから、ゴミ一つと言えども小さなことではありません。第一、足元のゴミ一つ拾えぬほどの人間に何が



できましようか・・・。(著者 鍵山秀三郎)

「誰にでもできる簡単なことことで差をつける」

